

校長通信「学ばん共に」

3学期
スタート!

その12「自分なりのチャレンジ」…そこに価値あり
(3学期始業式式辞 オンライン) (2023/1/6)

▶代表のみなさん…思いの伝わるスピーチでした。3学期、そして新しい年を迎えるにあたって、その意気込みが画面越しではありますが、全校に届いたと私は感じました。いいスピーチでした。「よし、私もやるぞ…いい3学期にするぞ!」という気持ちになった人が確実にいると思います。誠実なスピーチには、そういう力があります。

▶さて、みなさん。13日間という短い休みではありましたが、自分磨きの冬休み、エネルギー充電の冬休みになったのでしょうか。私が休み前に掲げた言葉があります。覚えていますか。そう…「**耐えて鍛える冬**」「**『思い』は人を成長させる大きな原動力**」この2つです。ドラえもん最終回の話を思い出してくれましたか。こうなりたいというものが一つでも見つかったら、それに向けて今自分ができることを、少しでも始められたら素晴らしいですね。自分なりのチャレンジ…そこに価値があります。

▶3年生は受検生です。「とことん勉強!」というチャレンジを続けた人が多かったことでしょう。えっ…もちろん、そうですね。頷いてくれる人がいますよね。1・2年生は「何をやるか、自分で決めてやり抜く」…そうしたチャレンジができた人だと思います。まかせてくださいという顔つきの人がるはずです。担任の先生方、生徒たちの顔つきや、目の奥の光を、よ〜く見てください。きっと何かがわかると思います。

▶私自身はどうかというと、自慢のできるほどのものではありませんが、この数日間、天気が良かったので、家の近所を4キロほど、毎日走っています。それから、読みかけていた本を3冊ほど、年末から読み進めてなんとか最後まで読み切りました。いずれもたいしたことではありませんが、自分としては、いい感じかなと思っています。「やるぞ!」と決めたことを最後まで

でやりきると人は「できた!」という満足感を得て、ちょっと自分を褒めてやりたくなります。その繰り返しがその人の自信になったり、元気の源になったりすると私は思っています。

▶最後にもう一つお知らせがあります。コミュニティ・スクール…地域の方々や可美中卒業生のみなさんと一緒に、2月に「やらまいか講演会」を企画しています。一昨年は、久保ひとみさん、昨年は落語家の瀧川鯉昇をお呼びした3学期のイベントです。今回も心に残る素敵な会にしたいと考えています。今年も、可美中の卒業生で、アメリカで活躍されている、医師・大学教授・企業のアドバイザーなど、たくさんの仕事をされている**池野文昭さん**を2月8日にお招きすることになりました。アメリカと日本を1年間に30回以上往復し、様々なお仕事をされている池野さん。私は幸運にも、先日、お会いする機会がありました。世界を舞台にお仕事をされている池野さんの魅力的なお話に時間を忘れて引き込まれました。素晴らしい方です。コロナ禍ということで、開催の方法は検討中ですが、可美中生にとって、まちがいなくステキな講演会になると思います。楽しみにしてください。詳しい話は後日連絡いたします。

▶遠州地方の本格的な冬はからっ風と一緒にやってきます。「耐えて鍛える冬」はこれからです。3学期始めに新たな目標を立て、一步一步前進する…メリハリのある毎日になるといいですね。4月に向けて、自分なりの努力と工夫をぜひ続けてください。みなさんにとってこの3学期が、大きく飛躍する、素晴らしい学期になることを心から願っています。(北村健治)



「3学期スタートすぐらく」(1年生の様子)